

## 自分や周りの人を大切にする児童生徒を育てる小中連携

ねがい

### 〈目的〉

人との関わりを大切にしつつ、規律正しい生活を送れる児童生徒を育てるために、自尊感情を高めたり小中の互恵性のある交流をしたりする活動を中心に、小中の連携を強化することになりました。

### 〈内容〉

つながり

#### ● 「清掃の達人」の小学校への派遣活動

多度津中学校では、教師や友だちの評価から選出された「清掃の達人」が認定され、清掃活動のリーダーとして活躍しています。技能だけでなく、清掃の大切さを深く認識している「清掃の達人」を各小学校に派遣し、小学生が彼らの清掃をする態度から学ばせる取組を多度津中学校校区で行っています。中学生が教室を黙々と隅々まで磨き上げる様子を見た小学生は感動を覚え、同じような姿勢で普段の清掃を行うようになりました。あんな中学生になりたいという憧れは、小学生にとっては中1ギャップの解消につながると共に、中学生にとっては有能感を感じることで自尊感情を高める効果を期待しています。



【小学校で模範清掃する中学生】

#### ● 一人一人の良さを認め伸ばす機会の充実

「きらきらキッズカード」「スマイルカード」「GOODカード」等と名付けたカードを児童生徒に渡し、積極的に良さを賞賛して自尊感情を高め、良い行動の習慣化を目指す活動を継続して行っています。挨拶、交通マナー、清掃、服装、授業態度等日常の活動を逐一評価することで、凡事徹底ができ、集団における自己存在感を持てる子どもを育てようとしています。



【カードを渡して賞賛します】

#### ● 家庭学習を中心とした学習習慣形成に向けた取組

小学校での学習の成果が生きるよう、小学校卒業前の春休みに中学校から小6児童に学習課題を与え、中学校入学後の成果テストにつなげています。課題の提出率はほぼ100%であり、テスト結果も予想以上のものでした。各学校で「家庭学習の手引」を与えたり、家庭学習と関連づけた授業内容となるよう工夫したり、手本となるような家庭学習の紹介をしたりする取組を通じて、学習意欲を高め、積極的な学習活動が行える児童生徒を育てようとしています。

### 〈成果〉

こうした取組を通して、家庭学習や自主的に取り組むボランティア活動等への習慣化が図れました。また、時間いっぱい無言清掃に取り組む姿勢には、規範意識の高まりを感じることもできました。今後は、一層効果的な取組となるよう、人との関わりを大切にしながら、「社会性」や「自浄力」を育てる取組に重点を置いた教育実践を考えています。

高まり